

# 第98期 中間報告書

(自 平成20年 4月 1日)  
(至 平成20年 9月 30日)



川崎支店 大型荷役機械設置工事 (平成20年10月稼働開始)



**東洋埠頭株式会社**  
TOYO WHARF & WAREHOUSE CO., LTD.



## ホームページのご案内

<http://www.toyofuto.co.jp/>

当社ホームページにおきまして、最新のIR情報や各支店・事業所および関係会社の流通施設・業務内容など、詳細な会社情報をご案内しております。

**IR情報** 社長のあいさつや、決算短信その他の開示情報を掲載しております。

**会社案内** 当社の会社概要や沿革、関係会社の情報を掲載しております。

**営業** 事業内容や各支店・事業所および関係会社の所在地、流通施設などを掲載しております。

**採用情報** 当社および関係会社の採用情報を掲載しております。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、平成20年9月30日をもちまして第98期の中間決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

なお、中間配当金につきましては、安定的な配当を継続するという基本方針に基づき、前年同期と同額の1株につき2円50銭とさせていただき、12月1日からお支払いすることといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成20年12月

取締役社長  
鈴木 毓夫



## 事業の概況

### ○事業の経過及び成果

当中間期におけるわが国経済は、米国の金融不安に端を発した世界的な金融市場の混乱に加え、原油や原材料価格の高止まりなどにより、企業収益や個人消費は減少に転じ、景気は減速傾向が鮮明になりました。

当埠頭・倉庫業界においては、物流量、保管残高ともに低調でありました。また、一般産業界の物流経費圧縮の影響を引き続き受けるなど大変厳しい環境のもとで推移しました。

このような状況下にありましたが、当社グループは、全社を挙げ新規荷主開拓や取扱数量を増加させるなど営業拡大を図る一方、業務の一層の効率化、合理化を進めて業績の向上に努めました。施設面では、期前半には志布志地区に普通倉庫1棟(1,822㎡)、大阪地区に輸入バナナ追熟設備をそれぞれ建設・稼働させ、また、9月末には川崎支店に大型荷役機械1基を増設するなど経営基盤の拡充を行ないました。

当中間期は、埠頭貨物は減少しましたが、一般倉庫貨物、輸入青果物の取扱い増、また、国際物流業務の拡大を行なったことなどにより増収となりました。

すなわち、当中間期の営業収入は169億2千7百万円(前年同期比8億1千万円の増収)、経常利益は5億5千8百万円(前年同期比9千6百万円の増益)となりましたが、投資有価証券評価損1億円を特別損失に計上したことにより、四半期純利益は2億1千3百万円に止まりました(前年同期は12億8千9百万円の純損失でありました)。

(注) 前年同期比は参考として記載しています。

### ○会社に対処すべき課題

下半期の日本経済は、世界的な金融市場の混乱による実体経済の悪化が、企業収益や個人消費に影響を与え、景気回復にはさらに時間がかかることが予想されます。埠頭・倉庫業界においても、物流量、保管残高の減少に加え、一般産業界の物流コスト削減圧力は依然として根強く、厳しい経営環境が続くものと予測されます。

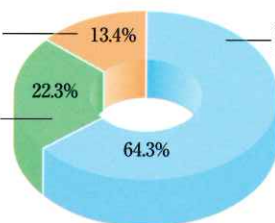
このような環境下にあります。当社グループは、グループ各社の結束を強め、積極的な営業活動を展開し、貨物の集荷に努めると同時に、業務の効率化、合理化を徹底することで経費削減を図り、利益率を高めてまいります。

設備面では、経岸貨物の取扱数量拡大を図るため、川崎支店に大型荷役機械を増設し、10月から本格稼働致しました。また、東京支店吉井営業所には倉庫1棟(3,492㎡)を今下期中に建設・稼働させるなど経営基盤を拡充していきます。さらにグループ各社との連携を強化し、海外の物流事業構築にも引き続き注力してまいります。当社グループは平成21年3月期の連結業績について、営業収入330億円、経常利益9億5千万円、当期純利益3億6千万円を予測しております。

## 部門別の概況

埠頭部門 (大型荷役機械を使用し、バラ貨物の海陸一貫作業を主とする業務)  
2,268百万円

その他部門 (国際物流業務、施設賃貸業務、自動車運送業務、コンテナターミナル業務、工場構内作業等の業務)  
3,775百万円



倉庫部門 (倉庫施設(普通倉庫、サイロ、青果物倉庫、冷蔵倉庫等)における貨物保管並びに出入庫作業及び荷捌作業を主とする業務)  
10,882百万円

合計  
16,927百万円

### ○埠頭部門

経岸貨物量は、262万トン(前年同期293万トン)でありました。

穀物類は、川崎・志布志地区の取扱いが増加しましたが、鹿島地区で減少したため、前年同期(205万トン)を下回る201万トンの取扱いとなりました。

石炭類は、豊洲地区の取扱いが増加しましたが、川崎地区の火力発電所用の取扱いが減少したため、前年同期(62万トン)を下回る42万トンの取扱いでありました。鉱石類その他貨物は、ソーダ灰、シリカサンドなどの取扱いが減少し、前年同期(24万トン)を下回る18万トンの取扱いでありました。

当部門における営業収入は22億6千8百万円となり、前年同期比8.3%の減収となりました。

### ○倉庫部門

当部門の出入庫数量は180万トン(前年同期166万トン)でありました。

平均保管残高は、数量、金額共に前年同期並みの27万トン、464億円となりました。

一般貨物では、紙・パルプや食料品などの取扱いが増加しましたが、米・麦、金属製品・機械などの取扱いが減少しました。

輸入青果物は、柑橘類、パイナップル、野菜類などの取扱いが減少しましたがバナナの取扱いが増加しましたので、全体では取扱い増となりました。

冷蔵倉庫貨物の取扱いは、6万8千トン(前年同期6万5千トン)でありました。

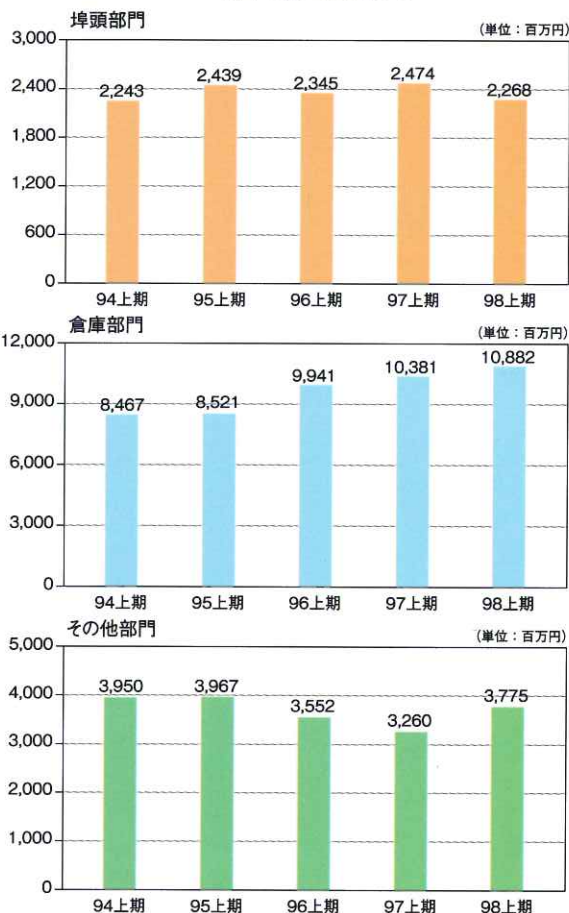
当部門における営業収入は108億8千2百万円となり、前年同期比4.8%の増収となりました。

### ○その他部門

当部門は、国際物流業務、施設賃貸業務、自動車運送業務、コンテナターミナル業務、工場構内作業などで構成されていますが、これらのうち、国際物流業務がロシアの現地法人が加わったことにより増加しました。

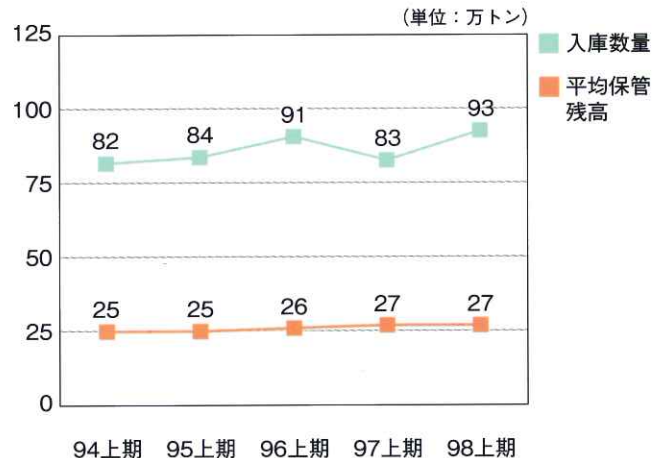
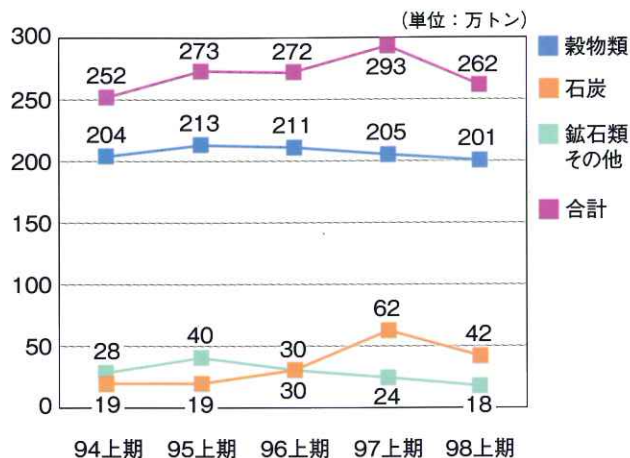
当部門における営業収入は、37億7千5百万円となり、前年同期比15.8%の増収となりました。

## 部門別営業収入



## 経岸貨物量

## 倉庫貨物取扱量



## 連結子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
株式会社東洋埠頭青果センター	100 百万円	100 %	港湾運送業、倉庫業
株式会社東洋トランス	100	70	航空貨物代理店業、国際複合一貫輸送業
東京東洋埠頭株式会社	50	100	一般貨物荷役業
鹿島東洋埠頭株式会社	30	75.5	港湾運送業、一般貨物荷役業
志布志東洋埠頭株式会社	20	90	港湾運送業、一般貨物荷役業、自動車運送業、倉庫業
東永運輸株式会社	20	100	自動車運送業
〇〇〇東洋トランス	1,000 <sup>万ルブル</sup>	* 100	倉庫業、国際複合一貫輸送業
〇〇〇TB東洋トランス	145	* 100	通関業

※ (株)東洋トランスの出資比率であります。



# 連結貸借対照表 (平成20年9月30日現在)

# 連結損益計算書 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

(単位：百万円)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,615	流動負債	11,705
現金及び預金	1,340	営業未払金	2,797
受取手形及び営業未収金	4,165	短期借入金	5,442
貯蔵品	168	未払法人税等	134
前払費用	198	未払金	1,535
繰延税金資産	182	設備関係支払手形	775
その他	605	その他	1,019
貸倒引当金	△ 43	固定負債	14,421
固定資産	37,637	長期借入金	12,367
有形固定資産	29,000	繰延税金負債	443
建物及び構築物	16,488	退職給付引当金	1,146
機械及び装置	3,794	役員退職慰労引当金	89
船舶及び車輛運搬具	146	その他	374
工具、器具及び備品	126	負債合計	26,126
土地	8,266	純資産の部	
建設仮勘定	177	株主資本	17,136
無形固定資産	217	資本金	8,260
その他	217	資本剰余金	5,182
投資その他の資産	8,420	利益剰余金	3,740
投資有価証券	6,608	自己株式	△ 48
長期貸付金	88	評価・換算差額等	970
繰延税金資産	103	その他有価証券評価差額金	964
その他	1,699	為替換算調整勘定	6
貸倒引当金	△ 78	少数株主持分	19
資産合計	44,253	純資産合計	18,126
		負債純資産合計	44,253

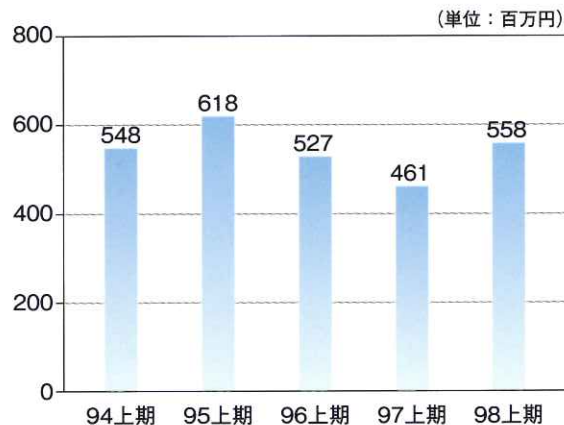
科目	金額	
	内訳	合計
営業収入		16,927
営業原価		15,229
営業総利益		1,698
販売費及び一般管理費		1,104
営業利益		594
営業外収益		186
受取利息	4	
受取配当金	85	
受取地代家賃	43	
持分法による投資利益	2	
その他	50	
営業外費用		222
支払利息	186	
その他	36	
経常利益		558
特別損失		139
固定資産除却損	38	
投資有価証券評価損	100	
税金等調整前四半期純利益		418
法人税、住民税及び事業税	119	
法人税等調整額	84	203
少数株主利益		0
四半期純利益		213

# 財務データ

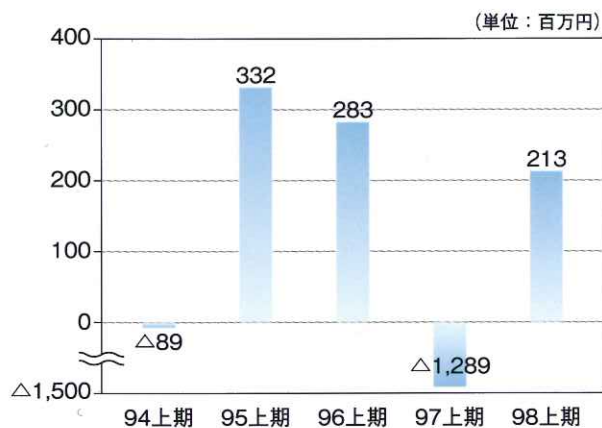
## 営業収入



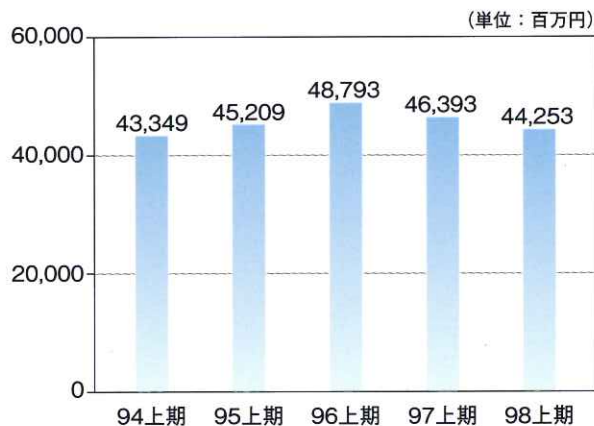
## 経常利益



## 中間純利益



## 総資産





## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 258,300,000株

発行済株式総数…………… 77,400,000株

株主数…………… 8,181名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
第一生命保険相互会社	6,690千株	8.64%
矢古宇保	3,525	4.55
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,428	4.42
株式会社みずほコーポレート銀行	3,428	4.42
大和生命保険株式会社	3,000	3.87
朝日生命保険相互会社	2,667	3.44
明治安田生命保険相互会社	2,388	3.08
東京海上日動火災保険株式会社	2,150	2.77
太陽生命保険株式会社	2,006	2.59
三井住友海上火災保険株式会社	1,847	2.38

## 会社の概要

商号 東洋埠頭株式会社

創業 昭和4年5月

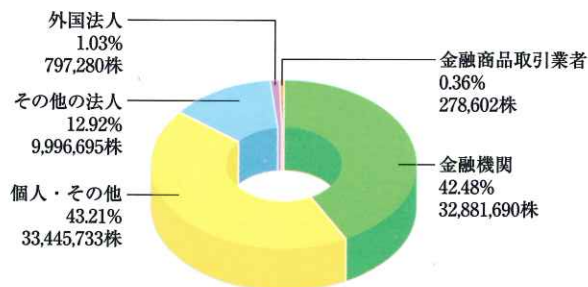
資本金 82億6,082万3,456円

従業員数 300名（当社グループ684名）

## 役員および執行役員（平成20年9月30日現在）

代表取締役社長	鈴木 毓夫
取締役	茂木 有司
専務執行役員	(経理部管掌兼総務部 情報システム部、施設部担当)
取締役	三浦 等
常務執行役員	(川崎支店長)
取締役	辻 典良
執行役員	(大阪支店長)
監査役(常勤)	北見 庄治
監査役	(第一生命保険相互会社 取締役常務執行役員)
監査役	露木 繁夫
監査役	(公認会計士) 加藤 朋行
常務執行役員	(東京支店長) 高沢 由二
執行役員	(業務部長) 立野 和雄
執行役員	(青果営業部長兼川崎支店 副支店長兼京浜青果部長)
執行役員	藤 永 孝 行
執行役員	(国際営業部長) 清水 隆二
執行役員	(埠頭営業部長兼川崎支店 副支店長兼京浜埠頭部長)
執行役員	香 月 幸 夫
執行役員	(経理部長 兼業務監査室担当)
執行役員	相 座 政 夫
執行役員	(営業部長) 原 秀 敏

## 所有者別株式分布状況

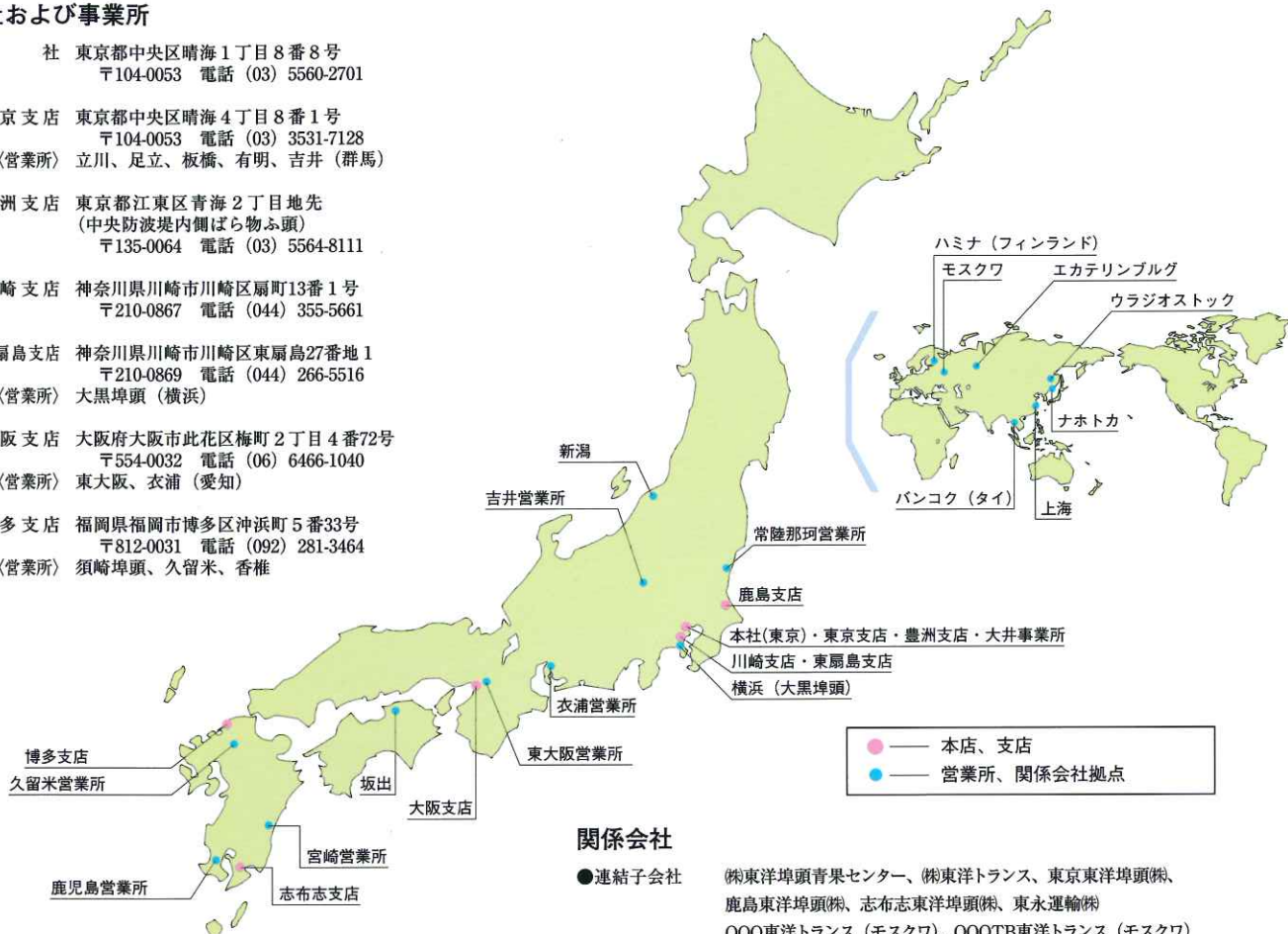


(注) 自己株式107,514株は「個人・その他」に含めております。

# 東洋埠頭ネットワーク

## 本社および事業所

- ◇本社 東京都中央区晴海1丁目8番8号  
〒104-0053 電話 (03) 5560-2701
- ◇東京支店 東京都中央区晴海4丁目8番1号  
〒104-0053 電話 (03) 3531-7128  
〈営業所〉立川、足立、板橋、有明、吉井(群馬)
- ◇豊洲支店 東京都江東区青海2丁目地先  
(中央防波堤内側ばら物ふ頭)  
〒135-0064 電話 (03) 5564-8111
- ◇川崎支店 神奈川県川崎市川崎区扇町13番1号  
〒210-0867 電話 (044) 355-5661
- ◇東扇島支店 神奈川県川崎市川崎区東扇島27番地1  
〒210-0869 電話 (044) 266-5516  
〈営業所〉大黒埠頭(横浜)
- ◇大阪支店 大阪府大阪市此花区梅町2丁目4番72号  
〒554-0032 電話 (06) 6466-1040  
〈営業所〉東大阪、衣浦(愛知)
- ◇博多支店 福岡県福岡市博多区沖浜町5番33号  
〒812-0031 電話 (092) 281-3464  
〈営業所〉須崎埠頭、久留米、香椎
- ◇鹿島支店 茨城県神栖市砂山2626番地3  
〒314-0255 電話 (0479) 46-1521  
〈営業所〉常陸那珂
- ◇志布志支店 鹿児島県志布志市志布志町志布志3275番地2  
〒899-7103 電話 (099) 473-2310  
〈営業所〉鹿児島、宮崎
- ◇大井事業所 東京都大田区東海6丁目1番5号  
〒143-0001 電話 (03) 3790-4001



● — 本店、支店  
● — 営業所、関係会社拠点

## 関係会社

- 連結子会社 (株)東洋埠頭青果センター、(株)東洋トランス、東京東洋埠頭(株)、鹿島東洋埠頭(株)、志布志東洋埠頭(株)、東永運輸(株)、OOO東洋トランス(モスクワ)、OOOTB東洋トランス(モスクワ)
- 非連結子会社 (株)ティーエフ大阪、板橋共同作業(株)、シビル・ポートサービス(株)、新潟東洋埠頭(株)
- 関連会社 東光ターミナル(株)、坂出東洋埠頭(株)、(株)オーエスティ物流、上海青旅東洋物流有限公司(上海)、スリタイ東洋ロジスティックス社(バンコク)、香港東洋ロジスティックス社(香港)

※1 OOO東洋トランス、OOOTB東洋トランスの2社は、(株)東洋トランス100%出資の子会社であります。  
 ※2 太字は持分法適用会社であります。

## 株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
公告掲載URL	http://www.toyofuto.co.jp/ 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 及び電話連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元未満株式買取請求 及び買増請求	単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人において受け付けております。 なお、買増請求につきましては3月31日及び9月30日のそれぞれ10営業日前から当該日までの期間お取扱いを停止いたします。
上場金融商品取引所 証券コード	東京証券取引所 (第一部) 9351

(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いたします。

<お知らせ>

株式事務に関するお問い合わせ	(三菱UFJ信託銀行 証券代行部)
お問い合わせ	0120-232-711 (フリーダイヤル)
諸届用紙ご請求	0120-244-479 (フリーダイヤル・24時間受付)
ホームページURL	http://www.tr.mufig.jp/daikou/



## 東洋埠頭株式会社

〒104-0053 東京都中央区晴海一丁目8番8号  
(晴海トリトンスクエア)

TEL 03-5560-2701

<http://www.toyofuto.co.jp/>

